

平成 25 年度 施策・基本事業評価表(平成 24 年度振り返り)

作成日 平成 25 年 8 月 19 日

基本目標No.	2	基本目標名	安全で快適な暮らしやすいまち
施策No.	18	施策名	水道水の安定供給
主管課名	水道課	主管課長名	吉川 高広
関係課名			

施策が目指すすがた	・安全でおいしい水が、将来にわたって安定的に供給されています。
-----------	---------------------------------

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	・水道水を大切に使います。
	行政	・水質検査、水道施設の維持管理を行い、安全な水道水を供給します。 ・水道の利用促進を図るため、水道に関する情報提供を行います。 ・老朽施設、管路の更新を継続的に行うため、経営の効率化、健全化に努めます。
	その他	

区 分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績
施策の トータル コスト	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	—	5 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	3 (3)			
	うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	2 (2)			
	うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—				
	うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—				
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	—	1,154,604	0	0	0
	うち基本事業①を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	233,759			
	うち基本事業②を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	920,845			
	うち基本事業③を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—				
	うち基本事業④を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—				
	C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	—	28			
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	—	17,860				
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費4,399円)	千円	—	—	78,566				
F. トータルコスト (B+E)	千円	—	—	1,233,170	0	0	0	
効率性 指標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	—	26,054			
	同 上 H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	—	1,773			
	同 上 I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	—	27,827			
	参考	魚津市の人口	人	—	—	44,315		

施策No.	18	施策名	水道水の安定供給								
施策の成果達成にあたって優先的に取り組むべき主な取組み	基本事業名①		事業内容(活動内容)								
	水道施設の整備		施設の増設、配水管布設により給水可能な区域の拡大を行います。老朽化した施設や管路を計画的に更新します。管路の布設等では、耐震性の優れた構造とします。								
	①に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
	増補改良事業		老朽化施設・管路を計画的に更新します。								
	拡張事業		第4次拡張計画に基づき、施設の増設、配水管の新設を行います。								
	基本事業①の目的【意図】		水道施設等の支障により、利用者に水道水を供給できなくなることを防ぎます。また、水道を利用したくても現状では困難な地域でも、利用可能となるように配水管等を整備します。								
	成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
	管路の更新率		%	0.76	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
	管路の耐震化率		%	9.5	10.5	12.0	13.0	14.0	15.0	16.0	
					10.4	11.7	12.8			22.0	
	基本事業名②		事業内容(活動内容)								
	安定した水道事業経営		安全な水道水を安定して供給するためには、健全で安定した経営を継続していく必要があります。このため、計画的な料金の見直しを行うなど経営の合理化に努めます。								
	②に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
	水道管理運営事業		水道施設の維持管理、水質管理、漏水修理、水道使用料の徴収等を行います。								
	簡易水道管理事業		簡易水道施設の維持管理、水質管理、漏水修理、簡易水道使用料の徴収等を行います。								
	基本事業②の目的【意図】		安全でおいしい水道水を安定的に供給し続けます。								
	成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
	料金回収率		%	105.1	105.0	104.0	104.0	103.0	103.0	102.0	
					107.5	106.0	104.1			110.0	
	給水柱数		柱	14,270	14,300	14,340	14,380	14,420	14,460	14,500	
					14,302	14,403	14,552			14,700	
	基本事業名③		事業内容(活動内容)								
	③に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
	基本事業③の目的【意図】										
	成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
基本事業名④		事業内容(活動内容)									
④に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)									
基本事業④の目的【意図】											
成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)	

施策No.	18	施策名	水道水の安定供給
23年度の 評価結果 (基本事業 の成果を考 慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること)		
	ア. 成果水準の推移(成果水準がここ数年どのように推移しているかを中心に記述)		
	イ. 近隣他市との比較(成果水準が近隣他市と比較してどうであるかを中心に記述)		
ウ. 住民期待水準との比較(成果水準が住民が期待していると思われる水準と比較してどうであるかを中心に記述)			
2. 施策の成果実績に結びついているこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括 (ここ数年の間、施策及び基本事業の成果向上に貢献してきた主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			

	施策の重要度	一般
部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	水道ビジョンは、人口減少時代を見据え、水道料金収入が年々減少することを前提に策定しました。今後は、料金改定は検討課題としつつ、水道ビジョンに掲げた計画を可能な範囲で推進していきます。	

	施策の重要度	一般
行政経営 戦略会議 評価 (施策の課題 及び方針)	<ul style="list-style-type: none"> ◆安定的な水道水の供給に努めます。 ◆老朽化した施設及び管路について、計画的に更新を行います。 	